令和元年１１月２６日
防　　　衛　　　省

イージス・アショア整備推進本部
第１回各種調査の技術的検証に関する専門家会議
（会議議事録）

１．日　時
令和元年１０月３０日（水）１４００～１４２０

２．場　所
防衛省Ａ棟１１階　第１省議室

３．出席者
（委　員）風間聡委員、多氣昌生委員、田才晃委員
（防衛省）髙橋事務次官、中村地方協力局長、田中地方協力局次長、
山野大臣官房審議官、熊谷東北防衛局長、森田中国四国防衛局長、
加藤情報通信課長、宮崎施設整備官、石倉施設技術管理官、
宮川地方調整課長、小山陸上幕僚監部防衛課長（防衛部長代理）、
小松大臣官房参事官（司会）

４．議　題
（１）専門家会議の構成
（２）専門家会議の運営

５．議　事

○　髙橋事務次官
　委員の皆様におかれましては、大変お忙しい中お集まりいただきありがとうございます。
　イージス・アショアの配備に関しましては、その調査結果を地元自治体や住民の皆様に御説明した際に、データの誤りや職員の緊張感を欠いた行為など、極めて不適切な対応があったところでございます。現在、防衛省におきましては、信頼を回復するために、地元への再説明に向け、イージス・アショア整備推進本部の下、再調査を実施するとともに、これまでの説明内容の確認・見直しを行っているところでございます。

この再調査の実施、そしてこれまでの説明内容の確認・見直しを行うに当たり、各分野で専門的な知見を有する外部の有識者の方々により調査・検討結果の内容につきまして、その手法も含めて妥当性を客観的に検証していただくため、今般、皆様の御協力の下、専門家会議を設置したところでございます。委員の皆様に改めて御礼を申し上げます。本日の会議においては、会議の運営方針を中心に、御議論をいただきたいと思います。

○　司会
　続きまして、委員の先生方を御紹介させていただきます。東北大学大学院工学研究科教授風間聡委員。

○　風間委員
　風間でございます。よろしくお願いいたします。

○　司会
　首都大学東京システムデザイン学部特別先導教授・名誉教授多氣昌生委員。

○　多氣委員
　多氣でございます。よろしくお願いいたします。

○　司会
　横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授田才晃委員。

○　田才委員
　田才でございます。よろしくお願いいたします。

○　司会
　それでは、プレスの皆様、ここで御退出願います。

（プレス退出）

○　司会
　それでは、事務局より議題１、「専門家会議の構成」について御説明いたします。

○　事務局

　お手元の資料の資料２を御覧ください。本専門家会議の構成についてでございますが、設置根拠といたしまして、イージス・アショア整備推進本部設置要綱を改正し、第７という項目を新たに加えました。第７の第１項です。「イージス・アショア整備推進本部が実施するイージス・アショアの整備に係る電波環境調査、地質・測量調査その他の調査に関することについて、技術的見地から検証を行い、イージス・アショア整備推進本部に対して助言を行うため、イージス・アショア整備推進本部に、各種調査の技術的検証に関する専門家会議（以下「専門家会議」という。）を置く。」という規定を置かせていただいております。第２項に規定されておりますとおり、事務次官から先生方に委嘱をしているところでございます。第３項ですが、「専門家会議に座長を置き、委員のうちから、委員の互選によりこれを定める。」という規定を置いておりますので、この後、座長の互選をしていただきたいと考えております。以下、事務的な規定を置いているところです。以上です。

○　司会

　続きまして、座長の互選をお願いしたいと思います。事務局といたしましては、今回検証いただく内容の量、「土木、建築、電波」といった分野がございますが、土木の分野、非常に分量的にも多いという事で、土木を専門とされている風間先生に座長をお願いしたいと存じますが、委員の皆様いかがでしょうか。

○　各委員

　異議ございません。

○　司会

　御異議ないということでございますので、風間先生、よろしくお願いいたします。

○　座　長

　ただいま座長に選んでいただきました東北大の風間でございます。僭越ではございますけれども、会議を仕切らせていただきます。

　次官からもお話がありましたように、専門家から客観的に、最先端の知識をもって防衛省が行う調査や検討結果に対して、検証するといった立場と思っております。我々も、地元の皆様にきちんと理解していただいて、

納得できるような手法や技術を提案していきたいと思いますので、皆様の御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

○　司会
　ありがとうございます。それでは風間委員に座長をお願いしたいと存じます。以降の議事運営は座長にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

○　座　長
　それでは、事務局より議題２「専門家会議の運営」について御説明をお願いいたします。

○　事務局
　引き続き、資料３を御覧いただきたいと思います。「専門家会議の運営」についてです。１、各種調査の技術的検証の要領について。各種調査の調査手法や検証すべき調査結果について、防衛省イージス・アショア整備推進本部事務局から専門家会議委員に対して説明の上、専門家会議委員から専門分野に関する意見を聴取し、技術的な助言を得る。専門家会議委員から得た技術的な助言は、必要に応じて、各種調査の調査手法や調査結果に反映させる。２、検証項目について。再調査の一環として外部の専門業者に委託する事項、むつみ演習場近傍の高台、西台での測量、秋田への説明に関する他の国有地等での測量・インフラ整備等に係る検討について、その仕様書の内容と調査結果の妥当性。電波環境調査について、計算手法等の考え方も含めた結果の妥当性。むつみ演習場に関する水環境への影響に係る各種調査について、その結果と、これを踏まえた対策の妥当性。３、専門家会議の公表について、専門家会議の開催は、会議前に公表する。専門家会議の議事録は、会議後に公表する。以上です。

○　座　長
　ありがとうございます。専門家会議の運営について、委員の皆様から何か御発言等ございますでしょうか。

○　委　員
　私は、電気工学分野ということで、電波環境調査の部分について検討させていただくことになると思います。仕様上の具体的な値を明確に示していただくことができない部分がある中で、検討を行うということが１点。

もう１点は、私は人体防護が専門であり、人体防護に関しては、おそらく、国内で一番確実なことが言えると思っております。そういった専門分野であるということを事前に御理解いただければと思います。

○　座　長
他に何かございますしょうか。

○　委　員
　建築工学の分野は非常に広く、私の専門は、鉄筋コンクリート構造の耐震工学です。ですから、意見を申し上げる際は、耐震的な知識と仕組みに関する観点から、課題を申し上げたいと考えております。
　また、座長の風間先生から現地調査の話を聞く限り、図面で見るよりは起伏の多い地形であることを伺いました。他方で、以前、防衛省から御説明をいただいた時に、候補地には非常に高いところに堅固な地盤があり、断層は見つかっていないというお話を伺いました。それを聞いて私は一安心しました。しかし、日本海側、特に中国四国の沿岸というのは、地震があまり発生しておりませんが、大きな地震が起きる可能性がないとは言い切れないと考えております。震源が遠くであっても、地震が発生した際、施設に対して本当に影響がないと言えるか。イージス・アショアの施設は非常に高度かつ高価な設備と伺っておりますので、決して壊れるようなことがあってはならないと考えております。したがって、今申し上げたような観点から、「大規模な地震が発生した場合を想定した検討」が必要なのではないかと考えております。

○　座　長
　ありがとうございます。他何かございますか。

○　事務局
　各委員から御指摘のあった事項に関してでございますが、それぞれの先生方の専門分野、スペシャリティの部分は当然そういったことがあると我々も承知しております。
　他方で、今回の我々の調査・検討は非常に多岐にわたっているということでございまして、一義的には当然まず防衛省にそれぞれの分野の専門家がおりますので、そちらできちんとチェックをした上で、さらにそれをオーバーライドするような形で、第三者的な立場で広い知見、専門分野に関する技術的な広い知見というのを御指導いただければという観点から委

員の先生方に今回お願いしているという趣旨でございます。
　それから２点目に、地震の関係でございますけれど、地元の住民の皆様からも様々な御指摘いただいており議論はございまして、それに対して我々も個別に縷々御説明しているところでございますが、今般、我々の考えている安全性についても、委員の先生方によく聞いていただきまして、改めて御指導いただければと思っております。以上でございます。

○　座　長
　他に何かございますでしょうか。よろしいですか。ありがとうございました。これをもちまして、第１回各種調査の技術的事項に関する専門家会議を終了いたします。

（了）